



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 テルマー湯ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3521 URL <https://thermae-yu-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木隆太
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部 部長 (氏名) 野村嘉之 TEL 03-6418-4391
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|------|------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期 | 2,695 | 36.1 | 308 | △9.7 | 308 | △9.1 | 161 | △15.5 |
| 2025年3月期 | 1,980 | 4.6 | 341 | 81.1 | 339 | 85.5 | 191 | 99.1 |

(注) 包括利益 2026年3月期 161百万円 (△15.4%) 2025年3月期 191百万円 (98.9%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2026年3月期 | 6.12 | 6.00 | 3.3 | 5.1 | 11.4 |
| 2025年3月期 | 7.24 | 7.23 | 4.0 | 5.6 | 17.2 |

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 6,000 | 4,969 | 82.5 | 187.10 |
| 2025年3月期 | 6,090 | 4,924 | 80.8 | 185.97 |

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,948百万円 2025年3月期 4,919百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2026年3月期 | 449 | △291 | △367 | 1,292 |
| 2025年3月期 | 562 | △95 | △194 | 1,501 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2025年3月期 | - | - | - | 5.00 | 5.00 | 132 | 69.1 | 2.7 |
| 2026年3月期 | - | - | - | 5.00 | 5.00 | 132 | 81.7 | 2.7 |
| 2027年3月期(予想) | - | - | - | 5.00 | 5.00 | | 73.5 | |

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|-----|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,060 | 13.5 | 320 | 3.8 | 320 | 3.6 | 180 | 11.2 | 6.80 |

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 青柳食品販売株式会社、除外 1社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2026年3月期 | 26,466,366株 | 2025年3月期 | 26,466,366株 |
| 2026年3月期 | 17,333株 | 2025年3月期 | 14,733株 |
| 2026年3月期 | 26,450,527株 | 2025年3月期 | 26,453,339株 |

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-----|------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期 | 861 | 3.3 | 287 | △4.8 | 292 | △3.8 | 146 | △7.1 |
| 2025年3月期 | 833 | △3.3 | 301 | △13.9 | 303 | △12.8 | 157 | △28.1 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 5.53 | 5.42 |
| 2025年3月期 | 5.95 | 5.94 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 6,054 | 4,979 | 81.9 | 187.47 |
| 2025年3月期 | 6,159 | 4,950 | 80.3 | 186.94 |

(参考) 自己資本 2026年3月期 4,958百万円 2025年3月期 4,944百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (セグメント情報等の注記) | 12 |
| (1株当たり情報の注記) | 15 |
| (重要な後発事象の注記) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年4月1日から2026年3月31日）におけるわが国経済は、日中関係が悪化したもののサービス需要やインバウンド需要は引続き好調だったことから、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、円安に伴う輸入価格の高騰による物価上昇、資源価格の高騰、人手不足の深刻化、さらには中東情勢の緊迫化など、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは中核事業である温浴事業を中心に事業を展開してまいりました。当連結会計年度の当社グループの売上高は2,695,959千円（前連結会計年度比36.1%増）、営業利益308,262千円（前連結会計年度比9.7%減）、経常利益308,893千円（前連結会計年度比9.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益161,877千円（前連結会計年度比15.5%減）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

<温浴事業>

当社グループの主力である温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する温浴施設「テルマー湯 新宿店」におきまして、当連結会計年度の入館者数は前年同期と比べ0.3%減少し、32万2千1百人となりました。入館者数の微減につきましては、インバウンド需要が好調だったことによる外国人観光客が増加した一方で、国内においてはインフレに伴う物価上昇により個人の遊興支出を控える傾向が続いたと考えております。そのような中、集客活動といたしましては、昨年に引続き季節ごとのフェアを開催し、レストランのメニューなども定期的に入替えてリピーターを飽きさせないよう努めております。新宿店につきましては、皆さまのおかげをもちまして8月で開業から10周年を迎えることができました。特別イベントとしてランニング、ヨガなどのウェルネス関連のイベントを開催したほか、有名アウフギーサーを招いてのスペシャルアウフグースの開催やレストランでの記念メニューの提供など様々な10周年記念イベントを開催いたしました。また、地下1階のレストランの一部をくつろぎスペースへとリニューアルするため改装工事を行い、7月1日に「リラックス&コワーキングラウンジ」として新たにオープンいたしました。追加料金なしでお客様にご利用いただけるパーソナルスペースとなっており、寝転んでご利用いただけるリラックススペースが24床、デスク席でパソコン作業などが行えるコワーキングスペースが11席で全床、全席コンセント付きとなっております。さらに12月12日から館内の全てのドライヤーとシャワーヘッドを高級製品にアップグレードいたしました。従来と比べ、より高機能なドライヤー&シャワーヘッドをお試しいただけます。これら多数のイベントや施設内のリニューアルなどで新規顧客の増加にも注力いたしました。また、ご利用時間の改定を行い、10月1日から従来の最大12時間利用から同料金で最大24時間利用可能といたしました。さらに、11月26日から深夜早朝料金発生の対象時間を従来の0時～9時在館から0時～6時在館とし、6時～9時にご入館されたお客様は実質値下げとなるよう改定いたしました。これにより朝風呂を、より手ごろな料金でお楽しみいただけるようになり集客力アップにつながりました。

東京都港区西麻布で事業展開する「テルマー湯 西麻布店」におきましては、当連結会計年度の入館者数は前年同期と比べ2.7%減少し、8万7千2百人となりました。西麻布店につきましては、開業から3年目のまだまだ伸びしろのある店舗となりますので、引続き有名アウフギーサーを多数ゲストに迎え、アウフグースに特に注力して他店との差別化を図っております。10月にA u f g u s s WM2023世界チャンプのKUROKAWAさんをゲストにお迎えした際には交流会なども開催してお客様にお楽しみいただきました。また、9月には施設内に新たなリラクゼーションサロンとして「RESET LABORATORY（リセット ラボラトリー）」がオープンし、ヘッドスパでの極上のリラクセスを提供しております。

その結果、温浴事業の売上高は前年同期に比べ3.6%増加し2,000,451千円、営業利益は前年同期に比べ4.2%増加し493,329千円となりました。

<不動産事業>

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有する「エコナック西麻布ビル」の住居部分の賃貸収益につきまして、継続して安定した収入を得ることができました。

その結果、不動産事業の売上高は前年同期に比べ5.5%減少し46,765千円、営業利益は前年同期に比べ16.2%減少し14,190千円となりました。

<食品事業>

食品事業では、7月から当社の子会社となった青柳食品販売株式会社が食品、食材、健康食品の企画開発、OEM製品の受託、卸売等を行っております。大手コンビニ・スーパー向けのおにぎり、調理麺等の具材の販売が順調だったほか、お惣菜・弁当用の混ぜご飯の素なども順調に推移いたしました。また、ペット用のレトルトの食品製造は大変好調に伸びてまいりました。ペットフード業界においては近年、ペットを家族同様に大切にする風潮の高まりを背景に大きく拡大しております。当社グループにおきましても、飼い主様とペットと一緒に共有出来る安心・安全なおやつ、アイ

ス、防災食などを企画開発しており、「Chill わんシリーズ」として12月よりECサイトでの販売を開始いたしました。これまでの食品業界においての商品開発、品質管理の経験を活かし、食品会社だからこそ出来る、安心・安全な品質重視をコンセプトとしたオリジナルティのあるペットフード関連の開発、販売にも注力いたしました。しかしながら、のれんの償却額を18,480千円計上したことにより営業損益は損失となりました。

その結果、食品事業の売上高は648,741千円、営業損失は16,520千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ90,520千円減少し、6,000,217千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ135,000千円減少し、1,030,829千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ44,480千円増加し、4,969,387千円となりました。これは、主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ209,019千円減少し、1,292,184千円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、449,559千円（前連結会計年度は562,899千円の獲得）となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益の計上などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、291,544千円（前連結会計年度は95,088千円の使用）となりました。

これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、367,034千円（前連結会計年度は194,622千円の使用）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

| | 2023年3月期 | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2026年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 75.8 | 78.7 | 80.8 | 82.5 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 81.4 | 62.1 | 65.6 | 68.8 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) | — | 1.6 | 1.1 | 0.9 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | — | 59.8 | 66.5 | 74.4 |

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 各指標は、次の算式により計算しております。

(1) 自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

(2) 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。

(3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

(5) 2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、日中関係の悪化による中国人観光客が減少した一方で、2025年の訪日外国人観光客は過去最高を記録するなどインバウンド需要が引続き好調なことから、サービス業が中核事業である当社グループにとっては追い風になると考えております。

温浴事業におきましても、外国人観光客の増加はプラス要因となりますが、一方で国内においては円安に伴う物価上昇により個人の遊興支出を控える傾向が当分の間、続くと考えております。さらに中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の高騰が水道光熱費を大量に消費する温浴事業にとってはマイナス要因となります。「テルマー湯 新宿店」につ

きましては、引続きリピーターの維持に努め、さらに新規顧客の取り込みが最重要課題であると考えております。そのような中、来館者を飽きさせないよう引続き多数のイベントを企画し来館者数の維持に努めてまいります。

宿泊施設と温浴施設が一体となっている「テルマー湯 西麻布店」につきましては、前連結会計年度は周辺のホテルなどの宿泊施設の価格上昇が追い風となり宿泊需要は好調に推移しておりましたが、当連結会計年度では周辺の宿泊施設の宿泊料金が下落傾向にあったため当施設も宿泊料金の値下げを強いられており、売上高の減少要因となりました。宿泊需要は周辺の宿泊施設の料金単価の影響を受けやすいため、温浴施設の来館者数を更に伸ばしていくことが課題であります。西麻布店はサウナに特に力を入れ、有名アフフギーサーを多数ゲストに迎えております。今後も様々なイベントを企画し新規リピーターの獲得に注力してまいります。

不動産事業におきましては、所有するエコナック西麻布ビルの住居部分について退去部屋を新たに賃貸せず当社が利用していることから、多少稼働率が下がっておりますが、周辺の不動産賃貸価格も上昇していることから、今後も需要は好調で推移し、引続き安定した賃料収入を見込んでおります。

食品事業におきましては、引続き大手コンビニ・スーパー向けの食品の販売ならびにペット用のレトルト食品製造を進めていくとともに、自社ブランドとして立ち上げた「Chill わんシリーズ」製品の販売拡大に注力してまいります。

通期の連結業績予想は、売上高30億6千万円、営業利益3億2千万円、経常利益3億2千万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億8千万円を見込んでおります。

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき当社において判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえつつ適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当連結会計年度 (2026年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,502,403 | 1,300,584 |
| 売掛金 | 95,453 | 172,225 |
| 商品 | 1,887 | 27,436 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,194 | 10,139 |
| その他 | 5,495 | 15,775 |
| 貸倒引当金 | △431 | △303 |
| 流動資産合計 | 1,607,002 | 1,525,857 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,272,712 | 2,083,075 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 32,667 | 42,432 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 72,741 | 55,260 |
| 土地 | 1,834,794 | 1,834,794 |
| 建設仮勘定 | 14,980 | — |
| 有形固定資産合計 | 4,227,895 | 4,015,562 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 83,445 | 83,445 |
| ソフトウェア | 4,225 | 3,705 |
| 電話加入権 | 1,528 | 1,528 |
| のれん | — | 187,037 |
| 無形固定資産合計 | 89,199 | 275,717 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 600 | 600 |
| 繰延税金資産 | — | 14,373 |
| その他 | 166,723 | 168,106 |
| 貸倒引当金 | △683 | — |
| 投資その他の資産合計 | 166,639 | 183,080 |
| 固定資産合計 | 4,483,735 | 4,474,360 |
| 資産合計 | 6,090,738 | 6,000,217 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当連結会計年度 (2026年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 37,382 | 123,262 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 195,398 | 159,932 |
| 未払金 | 51,472 | 53,261 |
| 未払法人税等 | 73,723 | 75,371 |
| 契約負債 | 16,523 | 19,179 |
| 前受金 | 5,348 | 4,919 |
| 賞与引当金 | 5,987 | 7,024 |
| 株主優待引当金 | 2,466 | 4,415 |
| その他 | 86,877 | 52,151 |
| 流動負債合計 | 475,179 | 499,517 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 405,272 | 245,340 |
| 繰延税金負債 | 31,964 | 28,921 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 10,296 | 10,296 |
| 資産除去債務 | 239,169 | 243,360 |
| 長期預り金 | 3,948 | 3,393 |
| 固定負債合計 | 690,651 | 531,312 |
| 負債合計 | 1,165,830 | 1,030,829 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 4,235,309 | 4,235,309 |
| 利益剰余金 | 568,380 | 597,999 |
| 自己株式 | △3,117 | △3,548 |
| 株主資本合計 | 4,900,572 | 4,929,759 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 土地再評価差額金 | 18,765 | 18,765 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,765 | 18,765 |
| 新株予約権 | 5,569 | 20,861 |
| 純資産合計 | 4,924,907 | 4,969,387 |
| 負債純資産合計 | 6,090,738 | 6,000,217 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 1,980,519 | 2,695,959 |
| 売上原価 | 1,471,272 | 2,105,682 |
| 売上総利益 | 509,247 | 590,276 |
| 販売費及び一般管理費 | 167,778 | 282,014 |
| 営業利益 | 341,468 | 308,262 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 757 | 2,639 |
| 受取手数料 | 1,239 | 1,843 |
| 固定資産賃貸料 | 420 | 384 |
| 補助金収入 | 48 | — |
| 受取家賃 | 1,890 | 1,025 |
| 受取補償金 | 1,348 | 665 |
| その他 | 752 | 508 |
| 営業外収益合計 | 6,456 | 7,065 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,908 | 6,245 |
| その他 | 99 | 188 |
| 営業外費用合計 | 8,007 | 6,434 |
| 経常利益 | 339,917 | 308,893 |
| 特別利益 | | |
| 債務免除益 | — | 7,280 |
| 特別利益合計 | — | 7,280 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 4,424 |
| 役員退職慰労金 | — | 25,000 |
| 特別損失合計 | 0 | 29,424 |
| 税金等調整前当期純利益 | 339,917 | 286,748 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 126,682 | 140,857 |
| 法人税等調整額 | 21,675 | △15,985 |
| 法人税等合計 | 148,357 | 124,871 |
| 当期純利益 | 191,559 | 161,877 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 191,559 | 161,877 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 191,559 | 161,877 |
| その他の包括利益 | | |
| 土地再評価差額金 | △244 | — |
| その他の包括利益合計 | △244 | — |
| 包括利益 | 191,315 | 161,877 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 191,315 | 161,877 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|---------|-----------|---------|--------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 100,000 | 4,235,309 | 376,820 | △2,750 | 4,709,379 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 191,559 | | 191,559 |
| 自己株式の取得 | | | | △366 | △366 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 191,559 | △366 | 191,192 |
| 当期末残高 | 100,000 | 4,235,309 | 568,380 | △3,117 | 4,900,572 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|----------------------|-------------|---------------|-------|-----------|
| | 土地再評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 19,010 | 19,010 | — | 4,728,389 |
| 当期変動額 | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 191,559 |
| 自己株式の取得 | | | | △366 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | △244 | △244 | 5,569 | 5,325 |
| 当期変動額合計 | △244 | △244 | 5,569 | 196,517 |
| 当期末残高 | 18,765 | 18,765 | 5,569 | 4,924,907 |

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|---------|-----------|----------|--------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 100,000 | 4,235,309 | 568,380 | △3,117 | 4,900,572 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △132,258 | | △132,258 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 161,877 | | 161,877 |
| 自己株式の取得 | | | | △431 | △431 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 29,618 | △431 | 29,187 |
| 当期末残高 | 100,000 | 4,235,309 | 597,999 | △3,548 | 4,929,759 |

| | その他の包括利益累計額 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|----------------------|-------------|---------------|--------|-----------|
| | 土地再評価差額金 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 18,765 | 18,765 | 5,569 | 4,924,907 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △132,258 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 161,877 |
| 自己株式の取得 | | | | △431 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | 15,292 | 15,292 |
| 当期変動額合計 | — | — | 15,292 | 44,480 |
| 当期末残高 | 18,765 | 18,765 | 20,861 | 4,969,387 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 339,917 | 286,748 |
| 減価償却費 | 306,027 | 302,707 |
| のれん償却額 | — | 20,522 |
| 株式報酬費用 | 4,453 | 15,292 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △3,582 | △811 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 393 | △704 |
| 株主優待引当金の増減額 (△は減少) | 518 | 1,948 |
| 受取利息及び受取配当金 | △757 | △2,639 |
| 支払利息 | 7,908 | 6,245 |
| 有形固定資産除却損 | 0 | 4,424 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,389 | 7,704 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △973 | 945 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 868 | 10,838 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 725 | △39,155 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | 7,928 | — |
| 長期預り金の増減額 (△は減少) | △275 | △555 |
| その他 | 12,957 | △19,960 |
| 小計 | 674,720 | 593,552 |
| 利息及び配当金の受取額 | 757 | 2,639 |
| 利息の支払額 | △8,463 | △6,041 |
| 法人税等の還付額 | 6,698 | — |
| 法人税等の支払額 | △110,813 | △140,591 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 562,899 | 449,559 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △92,467 | △93,312 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,420 | △820 |
| 定期預金の預入による支出 | △1,200 | △7,200 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △189,516 |
| その他 | — | △694 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △95,088 | △291,544 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △193,622 | △235,398 |
| 配当金の支払額 | — | △131,205 |
| 新株予約権の発行による支出 | △634 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △366 | △431 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △194,622 | △367,034 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 273,188 | △209,019 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,228,015 | 1,501,203 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,501,203 | 1,292,184 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業持株会社であり、当社主導のもと、グループ全体の経営の効率化を図るとともに、製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門の権限と責任を明確化することで経営の自由度を高め、独自性を発揮して当社グループを発展させる体制を目指しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「温浴」、「不動産」及び「食品」の3つの事業を報告セグメントとしております。

「温浴」は連結子会社の株式会社テルマー湯及び株式会社エレナが温浴施設を運営しております。「不動産」は当社がテナントビル及び住居の賃貸、不動産の売買・仲介を行っております。「食品」は2025年7月から当社の子会社となった青柳食品販売株式会社が食品、食材、健康食品の企画開発、OEM製品の受託、卸売等を行っております。なお、当連結会計年度より報告セグメントの区分には、従来の「温浴」及び「不動産」に加えて「食品」を新たに追加しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|--------------------|-----------|---------|-----------|
| | 温浴 | 不動産 | |
| 売上高 | | | |
| 温浴 施設利用料等 | 1,398,984 | — | 1,398,984 |
| 温浴 その他のサービス等(注1) | 531,382 | — | 531,382 |
| 不動産賃貸 管理サービス等 | — | 3,027 | 3,027 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,930,367 | 3,027 | 1,933,394 |
| その他の収益(注2) | 662 | 46,462 | 47,124 |
| 外部顧客への売上高 | 1,931,029 | 49,490 | 1,980,519 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 1,236 | 1,236 |
| 計 | 1,931,029 | 50,726 | 1,981,755 |
| セグメント利益 | 473,412 | 16,924 | 490,337 |
| セグメント資産 | 3,693,714 | 775,335 | 4,469,050 |
| その他の項目 | | | |
| 減価償却費 | 294,197 | 11,124 | 305,321 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 121,763 | — | 121,763 |

(注1) 「温浴 その他のサービス等」は、飲食、マッサージ等による売上高であります。

(注2) 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|--------------------|-----------|---------|---------|-----------|
| | 温浴 | 不動産 | 食品 | |
| 売上高 | | | | |
| 温浴 施設利用料等 | 1,403,198 | — | — | 1,403,198 |
| 温浴 その他のサービス等 (注1) | 596,591 | — | — | 596,591 |
| 不動産賃貸 管理サービス等 | — | 2,077 | — | 2,077 |
| 食品販売 | — | — | 648,741 | 648,741 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,999,789 | 2,077 | 648,741 | 2,650,608 |
| その他の収益 (注2) | 662 | 44,688 | — | 45,350 |
| 外部顧客への売上高 | 2,000,451 | 46,765 | 648,741 | 2,695,959 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 1,356 | — | 1,356 |
| 計 | 2,000,451 | 48,121 | 648,741 | 2,697,315 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 493,329 | 14,190 | △16,520 | 491,000 |
| セグメント資産 | 3,416,720 | 761,381 | 358,527 | 4,536,629 |
| その他の項目 | | | | |
| 減価償却費 | 290,750 | 10,718 | 2,316 | 303,784 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 94,818 | — | 23,364 | 118,182 |

(注1) 「温浴 その他のサービス等」は、飲食、マッサージ等による売上高であります。

(注2) 「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

| 売上高 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,981,755 | 2,697,315 |
| セグメント間取引消去 | △1,236 | △1,356 |
| 連結財務諸表の売上高 | 1,980,519 | 2,695,959 |

(単位: 千円)

| 利益 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|----------|----------|
| 報告セグメント計 | 490,337 | 491,000 |
| 全社費用 (注) | △148,868 | △182,737 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 341,468 | 308,262 |

(注) 「全社費用」は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位: 千円)

| 資産 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 4,469,050 | 4,536,629 |
| 全社資産 (注) | 1,621,688 | 1,463,587 |
| 連結財務諸表の資産合計 | 6,090,738 | 6,000,217 |

(注) 「全社資産」は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門の資産であります。

(単位：千円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | 調整額 | | 連結財務諸表計上額 | |
|----------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 |
| 減価償却費 | 305,321 | 303,784 | 705 | 965 | 306,027 | 304,749 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注) | 121,763 | 118,182 | 1,580 | 820 | 123,343 | 119,002 |

(注) 「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社管理部門の設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への外部売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客への外部売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

| | 温浴 | 不動産 | 食品 | 合計 |
|-------|----|-----|---------|---------|
| 当期償却額 | — | — | 20,522 | 20,522 |
| 当期末残高 | — | — | 187,037 | 187,037 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 185.97円 | 187.10円 |
| 1株当たり当期純利益 | 7.24円 | 6.12円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 7.23円 | 6.00円 |

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (千円) | 191,559 | 161,877 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 191,559 | 161,877 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 26,453 | 26,450 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円) | 191,559 | 161,877 |
| 普通株式増加数(千株) | 57 | 538 |
| (うち新株予約権(千株)) | (57) | (538) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。